

日本アプライド・セラピューティクス学会の目的

少子高齢化社会を迎えているわが国は、「国民の健康で豊かな生活」と「医療費の抑制」の両立という課題に直面しています。医療において、薬物治療は大きなウエイトを占めており、安心、安全で、かつ、有効で合理的な薬物治療を提供することは薬物治療を担う医師・薬剤師の責務であります。世界的には、大規模臨床試験による根拠に基づく薬物治療が基本になり、経済的で合理的な薬物治療が行われています。このため、わが国においても、医師と薬剤師が協力して、患者に良質で安価な薬物治療を提供することが不可欠であります。

『日本アプライド・セラピューティクス学会』は、医療を受ける者に対して安心、安全かつ良質な薬物治療を提供するために、薬物治療に関して、評価、研究、普及、教育などの活動を行うことを目的としています。医療用医薬品、一般用医薬品と問わず、補助的非薬物治療を含め、薬物治療が科学的で合理的なエビデンスに基づいて行われることを目指します。

そのため、以下の活動を通じて、科学的で合理的なエビデンスに基づく薬物治療、非薬物治療の確立のための社会に向けての提言、普及活動に取り組みます。

- 1) 予防や治療に用いられる医薬品、補助的非薬物治療の有効性、安全性に関する評価、解析
- 2) 予防や治療に用いられる医薬品、補助的非薬物治療の患者アウトカム、医療経済上のアウトカムに関する評価、解析
- 3) 科学的で合理的なエビデンスに基づく薬物治療、非薬物治療の遂行上の課題の検討
- 4) 科学的で合理的なエビデンスに基づく薬物治療、非薬物治療の確立のための取り組み上の成果・課題の検討
- 5) 科学的で合理的なエビデンスに基づく薬物治療、非薬物治療の確立のための医学教育、薬学教育に関する課題の検討
- 6) 薬物治療ガイドラインの作成
- 7) 薬物治療を担う医療関係者の育成
- 8) 中立で公正な医薬品情報を提供するためのネットワークの確立

日本アプライド・セラピューティクス学会の主な活動

年会の開催（年1回）

学術講演会、講習会等の開催（年数回）

会誌アプライド・セラピューティクスの発行

会報の発行

課題毎の調査・研究活動（小委員会活動）

医薬品、補助的非薬物治療の有効性、安全性に関する情報の収集、解析